古事記めぐり旅 Vol.5

身近な場所にある古事記ゆかりの地をめぐってみませんか？

畝尾都多本神社

涙から生まれた水と命の女神

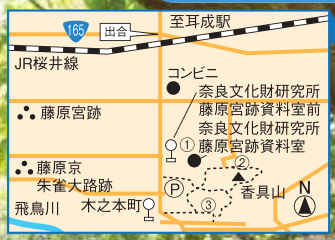
『古事記』によれば、男神のイザナキノミコトと女神のイザナミノミコトが日本を創る「国生み」「神生み」の最後に、イザナミが火の神を生んで命を落としたと記されます。イザナキは妻の遺体にすがって泣き伏しました。その涙から生まれた泣沢女神が、数々の神話伝承が残る香具山の西の麓、畝尾都多本神社に祀られます。

涙から生まれた女神のご神体は井戸。拝殿奥の禁足地に石玉垣、さらに板塀の神垣に囲われて鎮まります。

江戸期の国学者、本居宣長は『古事記伝』にて「水神」「人命を祈る神」、平田篤胤は「命乞いの神」と称するなど、水の神、延命の神として古代より信仰を集めてきました。「啼澤の杜」と呼ばれる緑深い境内には、この神社に皇子の延命を祈ったが叶えられなかったという、桧隈女王の万葉歌碑も残ります。この当時、すでに延命の神として信仰されていたことがうかがえ、「恨みの万葉歌碑」とも呼ばれています。

香具山は標高約152m。"神が天降る山"とされ、天香具山とも呼ばれるこの山には『古事記』にまつわる古社がいくつも鎮座します。北麓には占いの神を祀る天香山神社、南麓には天岩戸神話が残る天岩戸神社、山頂には天地の根源神を祀る国常立神社、山腹にはイザナキ、イザナミを祀る上の御前と下の御前。

小高い丘のような山頂までは登山口から歩いて約10分。厳かな神の森で軽い山歩きを楽しめば、『古事記』の聖地が巡れます。



「畝尾都多本神社」
所 橿原市木之本町114
☎0745-69-3306（造田 宮司） ☎0744-22-4001（代）（橿原市観光課）
大和八木駅より橿原市コミュニティバス橿原市昆虫館行き乗車、木之本町下車。土日祝は明日香奥山行き乗車。奈良文化財研究所藤原宮跡資料室前下車。
①畝尾都多本神社 ②天香山神社 ③天岩戸神社

「拝殿」拝殿奥の御扉の向こうに、ご神体の空井戸が鎮座する。手前の拝殿扉は祭祀の時のみ開く。

「天香山神社」
『古事記』にも記された、国の重要な占いに使う「波波迦の木」があり、本殿裏に盤座が鎮まる。

「天岩戸神社」
本殿が無く、天岩戸をご神体として祀る。神話で有名な、天照大御神が隠れた天岩戸伝承地の一つ。

大古事記展

詳しくは26ページへ

大古事記展では『古事記』を題材とした絵画を数多く展示します。伊耶那岐命を描いた「黄泉比良坂」は後期（11／18～12／14）に展示されます。伊耶那岐命は亡くなった妻、伊耶那美命に会うために黄泉国を訪問します。しかし変わり果てた妻の姿を恐れ、黄泉国の出口である黄泉比良坂を目指して逃げようとします。伊耶那岐命を追いかけているのは黄泉国の女性たちです。作者は青木繁。明治時代を代表する洋画家のひとりです。

青木繁「黄泉比良坂」
東京藝術大学蔵　後期展示

問 県ならの魅力創造課 ☎0742-27-8975 FAX 0742-27-7744